

まちの話題



夢をもって前へ



1月17日(火)に広幡小学校で全校児童を対象に、開校150周年記念プレイベントとして、若林美里選手を講師として迎え、「トーク&ドゥー 夢をもって前へ」と題したトークイベントやサッカー教室が開催されました。若林選手は、台湾のトップリーグで女子プロサッカー選手として活躍中で、2021年には年間MVPに選出されました。

若林選手はトークイベントの中で「夢は自分を支えてくれる大切なものです。そして自分が見つけた夢は諦めないことがとても大切です。しかし、今、夢がなかったとしても無理につくる必要はありません。自分の好きなことや得意なことを見つけ、それを夢にしてください」と児童たちに語りかけました。

全国に届けた素晴らしい歌声



11月13日(日)に東京で開催された『寛仁親王牌第37回童謡こどもの歌コンクール』のファミリー部門において「銀賞」に選ばれた佐々智美さん・音羽さん親子が、1月10日(火)に川地憲元町長に結果を報告しました。コンクールには全国約4,000組の応募を勝ち抜いた、こども部門10組、大人部門6組、ファミリー部門5組の計21組41人が出場し、3年ぶりに観客がいる中での開催となりました。

智美さんは「素晴らしいステージで緊張しましたが、堂々と歌う子どもに支えられ、練習の成果を披露する事ができました。今後も親から子へ、日本のこどもの歌の文化を歌い繋げていきたいです」と話し、親子の絆を感じさせました。

令和4年度 農業委員・農地利用最適化推進委員大会にて先進地として発表しました



1月19日(木)に岐阜市長良川国際会議場にて約2年ぶりに農業委員・農地利用最適化推進委員大会が開催され、県内の農業委員、農地利用最適化推進委員、東海農政局、(一社)全国農業会議所ほか総勢約600人が出席しました。

令和5年4月より施行される改正農業経営基盤強化促進法により、人・農地プランが地域計画に変更となり、農業を担っている人ごとに利用する目標地図に示すこととなりました。それにあたり、当町は先進地として「養老町における実質化された人・農地プランの取組について」というテーマで発表し、他市町村に先駆けて取り組んでいる事例について紹介しました。

交通のルールとマナーを学ぶ



1月17日(火)に池辺小学校で、自転車免許講習会が開催され、5年生の児童が養老警察署と町交通安全対策協議会の指導のもと、自転車の運転時に守るべき交通ルールとマナーを学びました。養老警察署の伴田亮さんによる学科講習で路上において必要な知識を学んだあと、筆記試験を受けました。学科講習の後には、県が主催する交通少年団自転車安全大会と同様のコースを走り、自転車運転の技術を学ぶ実技講習を受け、実技試験に挑み、自転車免許の取得を目指しました。